

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年11月14日（水）

2 確認箇所

4号機原子炉建屋オペレーティングフロア

3 確認項目

4号機使用済燃料プールの状況

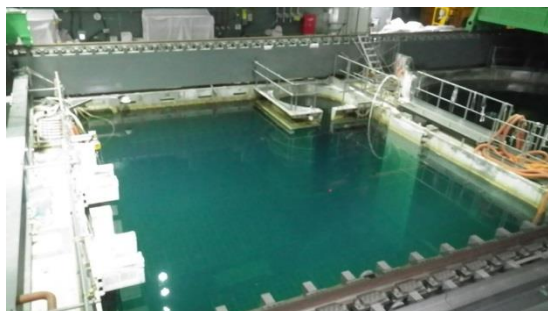
4 確認結果の概要

4号機使用済燃料プール（以下、「SFP」という。）については、平成24年12月22日に燃料取り出し作業が完了したが、現在、SFPには放射化された制御棒や中性子検出器等の機器が貯蔵されており、これらの機器を遮蔽するための水位の確保や貯蔵するための水質管理が行われている。

東京電力は、循環系統からの漏えいリスクの低減及び設備点検に伴う作業員の被ばく低減を図るため、今年7月20日より循環運転を停止し、定期的な水質確認等によりSFPの健全性を確保していく運用へ見直しをしている。

このことから、SFPの現況や水質確認方法等について確認した。

- ・現場確認時（10時30分頃）、SFPの水位はオーバーフロー水位付近にあり、運転上の制限を満足していた。（写真1）
- ・水位については、SFP近傍に設置された複数の監視用カメラにより監視していた。（写真2）
- ・水質については、定期的な分析及び殺菌剤注入により管理しているとのことであった。



（写真1）



（写真2）

5 プラント関連パラメータ等の確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。